

第 5 2 回動物用医薬品専門調査会議事次第

1. 日時及び場所

平成 1 8 年 4 月 2 8 日（金） 1 6 : 0 0 ~
食品安全委員会 7 階 中会議室

2. 出席専門委員（14名）

明石 博臣	井上 松久
江馬 眞	大野 泰雄
小川 久美子	嶋田 甚五郎
渋谷 淳	鈴木 勝士
津田 修治	寺本 昭二
中村 政幸	長尾 美奈子
三森 国敏	吉田 緑

欠席専門委員（3名）

青木 宙	林 眞
藤田 正一	

3. 議事

(1) 動物用医薬品に係る食品健康影響評価について

- ・ダルマジン
- ・メタカム2%注射液
- ・エクイバランゴールド及びエクイマックス

(2) その他

※ 本会議は「食品安全委員会の公開について」（平成 1 5 年 7 月 1 日内閣府食品安全委員会決定）に基づき、「企業の知的財産等が開示され特定の者に不当な利益若しくは不利益をもたらすおそれがある」ことから非公開で開催されました。なお、本会議に関連する情報として以下のとおり公開する予定です。

- ① 議事録は、企業の知的財産を侵害する恐れがある箇所などを削除したものを速やかに公開します。
- ② 審議に用いた各種試験結果概要及び評価結果をまとめた評価書（案）を作成することとし、評価書（案）は専門調査会での評価終了後に食品安全委員会へ報告して公開します。
- ③ 原則として、企業が作成した資料概要については、企業の知的財産を侵害するおそれがある箇所などを除き、承認と同時に公開します。

配布資料一覧

- 資料1 d-クロプロステノールを有効成分とする牛及び豚の注射剤(ダルマジン)の食品健康影響評価について(案)
- 資料2 クロプロステノールの諸外国における評価状況について
- 資料3 メロキシカムを有効成分とする牛の注射剤(メタカム2%注射液)
- 資料4 イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤(エクイバラン ゴールド)
- 資料5 イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤(エクイマックス)
- 資料6 メロキシカムの諸外国における評価状況について
- 資料7 イベルメクチンの諸外国における評価状況について
- 資料8 プラジクアンテルの諸外国における評価状況について